

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立第二中学校）

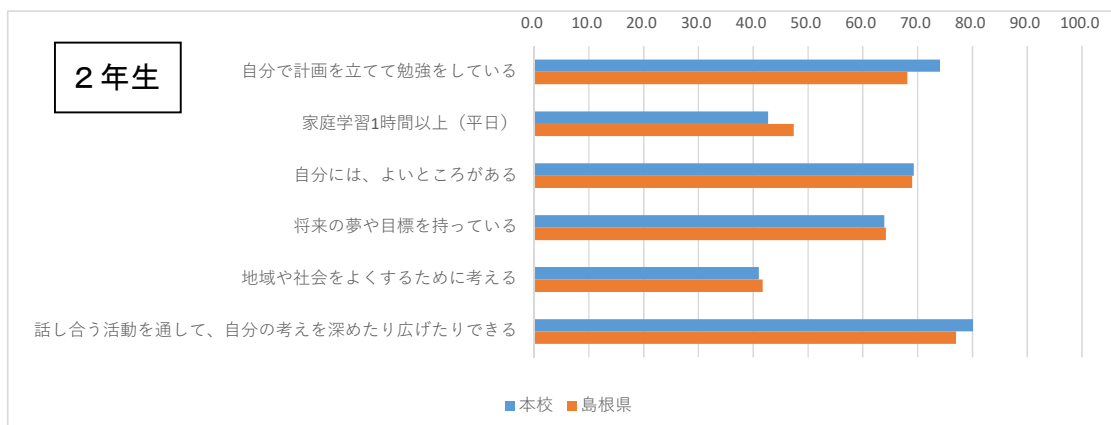
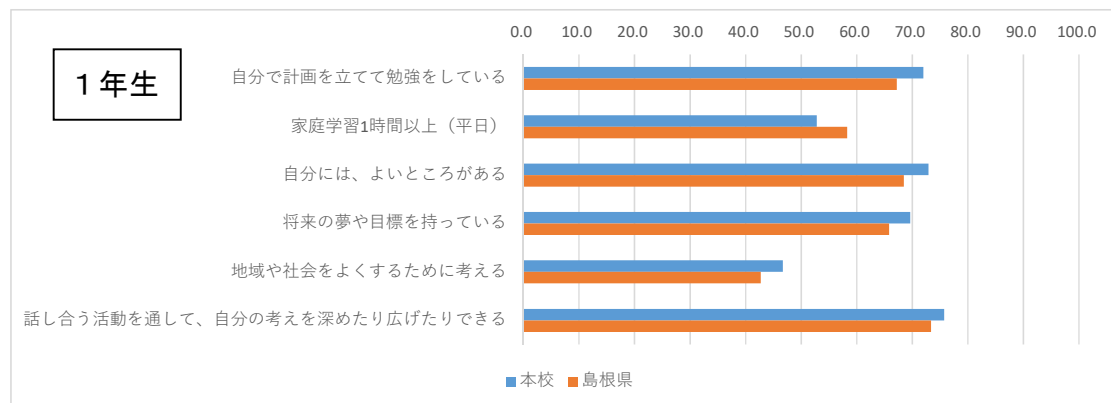
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○既習の文法事項や漢字の読み書き・部首などを理解し、正しく答えることができている。 ●自分の考えを明確にして、指定された条件に沿って書く力が弱い。 ●学習して間もない時期の学力調査だったためか、歴史的仮名遣いについての理解が定着していない。	2 年 国 語	○基礎的な内容や言語に関する事項については正答率が高く、学習内容の定着が見られる。 ●記述形式の正答率が全国平均と比べて低く、「書くこと」の学習をより一層推進していく必要がある。
1 年 数 学	○基礎力がかなり定着しており、さまざまな領域の能力がバランス良く身に付いていることが評価できる。 ●活用の正答率が低いので、数学的思考力をいかに高めていくかが、これからの課題と言える。	2 年 数 学	○基礎的な内容や知識・技能は定着している。 ○図形・関数の正答率が高い。 ●2極化が著しいので、指導の工夫が必要である。 ●数と式、記述が不十分であった。
1 年 英 語	○聞くことの理解力が高く、授業での活動の成果が出ている。 ○基礎的な語彙力が身に付いている。 ●書く力が弱いので、今後の指導に工夫が必要である。 ●主体的に学習に取り組める授業づくりが必要である。	2 年 英 語	○日々の単語テストや自己表現の活動が、書くことの強化につながっている。 ●英文を読み取る力が低いので、教科書の本文を有効活用し、素早く概要をつかむ練習をする必要がある。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○様々な項目の数値が高く、キャリアパスポートやガイダンスプログラムなど、学校での諸活動の成果が出ている。 ○全体的に基本的な生活習慣がしっかり身に付いている。 ●家庭学習の時間が短いので、今後はタブレットの活用も視野に入れ、課題の出し方を見直す必要がある。	2 年	○テスト前の計画表や授業でのペア・グループ学習の成果が表れている。 ○家での会話や手伝いなどが充実している。 ●家庭学習が、決められた課題をこなすだけになっている。 ●地域行事やボランティアへの意識や参加率が低下している。
--------	--	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 213名 2年生 164名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。